

輸 送 動 向 に つ い て (平 成 2 3 年 1 月 分)

平成 2 3 年 2 月

1 . 輸 送 概 況

今月は、中旬以降、北海道から北陸にかけての広い範囲で大雪による輸送障害が長期間に亘って続いたため、高速貨 355 本、専貨 3 本が運休した。

荷動きについては、家電エコポイント制度の 3 月末の終了を見越して家電製品の出荷が堅調に推移したものの、中旬から月末にかけての記録的な大雪に伴う輸送障害の影響を強く受け、月全体では低調に推移した。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、家電・情報機器などが前年を上回ったものの、農産品・青果物、積合せ貨物、食料工業品などが前年を下回ったことから、全体では前年比 99.8% となり 13 ヶ月振りに前年を下回った。紙・パルプは車扱のコンテナ化等により増送となった。一方、積合せ貨物は大雪による輸送障害の影響を受け減送となった。また、食料工業品は、たばこの出荷が増税の影響により減少したこと、昨年夏の天候不順を受け砂糖の生産量が減少したこと等により減送となった。

車扱貨物は、車両が前年を下回ったものの、全国的に気温が冷え込んだことから灯油の出荷が堅調に推移した石油などが前年を上回り、全体では前年比 100.6% となった。

2 . 輸 送 実 績

(単 位 : 千 ト ン , %)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,531	1,534	99.8%	17,444	16,780	104.0%
車 扱	1,054	1,048	100.6%	8,571	8,676	98.8%

3 . 品 目 別 輸 送 実 績 表

(単 位 : 千 ト ン , %)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	136	147	- 11	92.5%
	化学工業品	148	148	0	100.0%
	化学薬品	131	127	4	103.1%
	食料工業品	190	200	- 10	95.0%
	紙・パルプ	260	243	17	107.0%
	他工業品	126	124	2	101.6%
	積合せ貨物	148	159	- 11	93.1%
	自動車部品	66	65	1	101.5%
	家電・情報機器	37	32	5	115.6%
	エコ関連物資	30	31	- 1	96.8%
	その他	259	258	1	100.4%
	コンテナ計	1,531	1,534	- 3	99.8%
車 扱	石油	784	774	10	101.3%
	セメント・石灰石	93	92	1	100.9%
	車 両	92	104	- 12	88.5%
	その他	86	79	7	109.2%
	車扱計	1,054	1,048	6	100.6%

(車 扱 の 品 目 別 輸 送 量 は 社 線 発 送 ト ン 数 も 含 む 数 値 、 本 年 は 速 報 値 、 前 年 は 確 報 値)